



森づくりサポーターニュース

令和元年（2019年）9月15日号

びわこ地球市民の森（森づくりセンター）

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

新しい時代に期待される森のあるべき姿 (シリーズ2)

この夏も長梅雨の後、35℃以上の猛暑日が続き、その後は台風や前線の影響で大雨も降りました。やっと数日前からツクツクボウシが鳴き始め、秋が忍び寄ってきました。

多くの皆さんに植えていただいた植栽木（苗木）で最初に植えたものは、樹齢20年になりました。もう立派な成木です。約16万本の苗木は落葉樹が圧倒的に多いのですが、その落葉樹のベスト3は、クヌギ、コナラ、ヤマザクラです。常緑樹のベスト3はアラカシ、スダジイ、シラカシです。この中で、ドングリになるブナ科の木は、5/6を占めています。90種の中でもブナ科植物は15種と約17%を占めますが、数では約16万本中67,000本で約42%とさらに大きな数値を示しています（植栽数による）。子供たちが大好きなカブトムシやクワガタムシも今年の夏はそこそこ出ていたと思いますが、虫たちが好きなクヌギやコナラも大きくなり、そろそろ樹液を出しかけてきました。仕掛けをしなくても虫たちが集まってくる日も近そうです。



クヌギ・コナラ主体の森



ナラガシワ主体の森

これから森は秋に向かいます。落葉樹と常緑樹の比が5：2なので、落葉樹の紅葉、黄葉（共に「こうよう」）が広がっていきますが、私はもう一つ「茶褐色」の色があると思います。この森の紅葉は、ヤマザクラ、ヤマモミジの他に数本の自然生えのヤマハゼ、ヌルデなどがあるくらいで、目立つのは黄葉と茶褐色系の葉ばかりです。そしてほとんどの木が、ドングリをはじめ大小さまざまな大きさや色の実、種を着けます。カシワのように、落葉樹でありながら大きな茶褐色の葉を、春新葉が出るまで着けるものもあり、秋は森の実や葉っぱの魅力でいっぱいです。



カシワの群植

今年はスダジイやクヌギなどのドングリが豊作の年ようです。10、11月にドングリ拾いにやって来る、市内外の保育園や幼稚園、小学校の子供たちの喜ぶ顔が目に見えますが、紅葉、黄葉した木や茶褐色の木々を観たり、ガマズミやウメドキなどが実を赤く熟れさせ、動物や鳥たちが喜ぶ様子も観てほしいと思います。



豊作のスダジイ



豊作のマテバシイ